



# 鳴鹿小学校

## 校長室だより

第17号 令和6年3月1日(金)



### 6年生を送る会 ……今までありがとう。中学校でも頑張っ！

6年生とこの学校で一緒に過ごせる日は、残り7日となりました。いよいよ6年生は鳴鹿小学校を卒業して中学校へ、在校生は次の学年にそれぞれ進級します。

2月22日(木)に「6年生を送る会」を行いました。

今年は全校が体育館に集まって、「卒業おめでとう。今までありがとうございました。中学校へ行ってもがんばってください。これからは私たちがこの学校をもっともっとすばらしい学校にしていけます。」という気持ちを在校生みんなで伝えました。

在校生一人一人が心を込めて準備を進めてきました。1年生は、集団登校や縦割り活動などでお世話になった6年生のお兄さんお姉さんの似顔絵を描きました。2年生は、学校全体をリードしていろいろな行事を成功させてくれた6年生にメダルを作りました。



3年生は、6年生一人一人に招待状を作り、会場となる体育館ステージ横に心のこもった飾り付けをしました。4年生は、きれいに飾り付けをした台紙に全校児童からの寄せ書きを張り、ステージ下部にテーマにマッチした心温まる雰囲気飾り付けをしました。そして、5年生は、幕間のショートコントや6年生の思い出ムービーづくりなど、クラス一丸となって、送る会の企画、運営をやり遂げ、送る会を大いに盛り上げてくれました。



6年生は、下級生の心にこたえようと、歌番組の構成でダンスを披露してくれました。自分たちの動きを録画して、それを見ながら全員で何度も修正し、作りあげていきました。在校生は、6年生一人一人の顔を見ながら、いろいろなことを思い出したことでしょう。



送る会では、引き継ぎ式もありました。集団登校、縦割り班、委員会、清掃の4部門で、6年生から5年生へしっかりとバトンが渡されました。朝の集団登校、掃除の時間、縦割り班と一緒に遊んだ縦割り遊び、クラブや委員会活動など、6年生は自分の責任を全うしようとしていました。その思いは1~5年生にも届いていたことと思います。日々の活動の中で、6年生から下級生へ鳴鹿小学校の伝統が引き継がれていくのです。



1年から5年生の皆さんも、明るく、落ち着いたそして温かい鳴鹿小学校を作り上げていてくれることと思います。素晴らしい送る会を立派にやり遂げた5年生、そして、1年生から4年生の皆さん、本当にありがとう。

## 学校集会にて 2/29

次の学年に向けて  
HOP STEP JUMP !

みなさんは、こんな言葉を聞いたことがありますか？

「有終の美をかざる」

どういう意味でしょう。

「有終」とは「最後まで成し遂げること」、「美」は「見事なこと」や「立派なこと」という意味。「飾る」は「価値のあるもの」や「華やかさを添える」ということを表します。

そのことから「有終の美を飾る」は「最後に素晴らしい結果を残す」という意味合いで用いられる言葉です

もともとは、中国で最も古い詩集の中にある一文だそうです。「多くの人は初めのうちは熱心に取り組むが、最後までやり遂げる人は少ない」という意味から転じて、最後までまっとうすることが素晴らしいということや、最後に良い結果を残すことを意味する表現として使われるようになったそうです。

6年生は、卒業まであと8日間です。1~5年生はあと15日間です。

今年度の最後を、カッコよくしめくりましょう。そして、新しい学年を気持ちよくむかえましょう。

そのためにも、勉強や運動に頑張る自分づくり、友達に親切にできる自分づくり、新入生や友だちから頼りにされる自分づくりに励んでください。

毎日の積み重ねが、今年度の有終の美につながり、来年度の栄光につながります。

残りわずかですが、まだ間に合います。

「今から」、「今なら」です。がんばりましょう。(抜粋)